

八戸圏域キャリアサポートモデルプログラム

<八戸圏域キャリアサポートモデルプログラム教育目標>

1. 患者・家族の意思決定支援ができる看護師の育成
2. 自分の行う看護に根拠をもち、自律して行動できる看護師の育成
3. 患者の退院後の生活をイメージし、生活のアセスメントと個別性に合わせて援助できる看護師の育成
4. 患者が住む地域の状況を理解して生活を支えることのできる看護師の育成
5. 地域のニーズを踏まえて自分のキャリアを組み立てられる看護師の育成
6. 広域地域に貢献できる看護師の育成

<プログラム>

	急性期	回復期	慢性期
施設	八戸市立市民病院	五戸総合病院・三戸中央病院	五戸総合病院・三戸中央病院
期間	3年	2年	1年
ねらい	①急性期の標準的な看護を実践できる ②標準的な看護と受け持ち患者の状態の違いに気づき個別性に合わせた身体面・精神面のケアを提供できる	①患者が望む退院後の生活を具体的に描き、他職種と連携してケアを提供できる ②患者・家族の意思決定支援ができる	①施設長（看護師）のもとで管理・経営を学ぶことができる ②地域で生活する多様な人々を支援することができる
到達目標	①標準看護計画に沿った看護の展開ができる ②退院後の望ましい患者像を描き、標準看護計画の中で根拠をもって必要な看護を選択（追加・削除）できる ③退院先によって患者の退院時支援が異なることを理解できる ④看護スタッフ・他職種に自らの意見を述べ適切な人間関係を構築できる	①地域で療養する人々の多様な状況に応じたケアを経験できる。 ②患者の思いやニーズに応じた個別性のある看護を提供できる ③生活に根差した看護について再確認できる(食事・排泄・清潔など) ④地域で療養する人々に関わる職種(行政も含む)の役割を理解でき、相談・連携できる ⑤患者がサービスを利用しながら地域で生活することに順応できるよう入院中から支援できる	①多様な対象者に必要な看護について理解し実践できる ②<訪問看護>施設の管理、経営について理解することができる ③<保健センター>地域の行政、仕組みについて理解することができる ④地域に求められる自らのキャリアプランを描くことができる
方法	①配置は本人の希望を優先する ②八戸市立市民病院キャリアラダーに沿って研修を受講する ③1年目に受け持ちした患者の看護の経験を振り返ったレポートを作成する ④2年目に新人看護師にほほえみ SUN として関わる ⑤3年目に退院支援を実践した看護についてレポートを作成する ④<助産師の場合>助産師ラダーに沿って学習とOJTを行う	①地域医療連携室で勤務し、急性期病院からの入院調整を行う ②急性期3年目でまとめたレポートを基に急性期看護についてプレゼンテーションを行う ③地域包括病棟（床）で患者を受け持ち、思いやニーズに応じた個別性のある退院支援計画を立案し実践する ④患者が生活する地域の特徴を学ぶ ⑤生活に根差した看護についてレポートを作成する	①看護小規模多機能型居宅介護事業所、訪問看護ステーション、総合保健センター、助産院(助産師のみ)のいずれかを選択、またはローテーションする ②病棟で行った退院支援を振り返る ③対象者別に必要な看護、多職種チームで取り組んだことのレポートを作成する ④キャリアプランを作成する ・認定看護師、専門看護師、看護管理者などとの交流 ・大学院進学についても検討する
評価	①新人看護師技術チェックリスト ②キャリアラダー I と II の申請・認定 ③人事評価(能力・業績)と面接	①ケースレポートの評価 ②地域連携室看護師や多職種からのフィードバック ③キャリアラダー II 意思決定を支える力の再評価 ④人事評価(能力・業績)と面接	①ケースレポートの評価 ②キャリアプランの具体性や方向性へのフィードバック(各病院の教育担当者) ③キャリアラダー III の申請(@八戸市立市民病院) ④人事評価(能力・業績)と面接
備考		本人の希望により八戸市立市民病院での研修を受講することもできる	本人の希望により八戸市立市民病院での研修を受講することもできる